

設楽発掘通信

No.72
令和4年
8月号

秋の埋蔵文化財展 開催します

この度、秋の埋蔵文化財展「悠久の記憶〜設楽ダム関連発掘調査成果展〜」を開催します。期間は八月三二日（水）から九月二六日（月）まで（九月六日・十三日・二十日を除く）、場所は設楽町清崎にある道の駅したら奥三河郷土館二階の企画展示スペース、時間は午前九時から午後五時まで（午後四時三〇分受付終了）です。

愛知県埋蔵文化財センターは設楽ダム関連の発掘調査を二〇一〇年度より本格的に開始し一二年が経ちました。今回の展覧会は、発掘調査の終了した遺跡から、縄文時代の遺物を中心に、合計七遺跡九〇点を展示いたします。なかでも注目していただきたい遺跡としては、二〇一五年度に発掘調査した笹平遺跡です。笹平遺跡は縄文時代を中心とする集落遺跡で、竪穴建物などから土器と石器が多く出土しました。今回の展示はこれら出土品をできるだけ間近にご覧いただけるように配慮いたしました。多くの皆様のお越しをお待ちしております。

（永井宏幸）



図1 展示会場の奥三河郷土館



図2 笹平遺跡発掘調査の様子（2016年12月）

「悠久の記憶」設案ダム関連発掘調査成果展」への誘い

本誌一頁目にありますように、愛知県埋蔵文化財センターの令和四年度秋の埋蔵文化財展は、奥三河郷土館の二階企画展示スペースをお借りして、「悠久の記憶」設案ダム関連発掘調査成果展」を開催いたします。設案ダム関係の発掘調査が始まって、一二年になります。この間、さまざまな調査成果がありました。その成果の一部を、今回の展示でご報告することとなりました。ここでは、今回の展示の概要と見どころをご案内したいと思います。

今回の展示コンセプトは、展示の題にもありますように、「悠久の記憶」です。設案町内には、さまざまな遺跡があり、町内はまさに埋蔵文化財の宝庫と言えます。我々が行っている発掘調査は、ダム関連事業などのように、やむを得ず地形が改変される部分が生じた際に、事前に埋蔵文化財資料のすべてを調査・記録し、遺物を回収することを目的としています。

考古学は、遺跡・遺構・遺物というモノを扱う学問ですが、これらを考古資料として生きたものにするために、遺構・遺物がどのような性格のものなのかという評価をして、最終的に遺跡からそこで生きた人々の生活や歴史を明らかにすることを目指します。このような最終的な評価を出すには、発掘調査およびその後の室内整理調査を経ることによって初めて得られます。このように考古学に裏付けられた成果が、さらに生きた悠久の記憶となって、広く皆様の財産となっていくのです。

今回の展示では、設案ダム関連調査で得られた成果について、展示スペースをゾーン1からゾーン7に分けてご紹介しています。

ゾーン1 ダム事業と埋蔵文化財 設案ダム事業の紹介と、その範囲内で確認されている遺跡についての紹介をしています。この展示は、国土交通省中部地方整備局設案ダム工事事務所によるものです。

ゾーン2 調査遺跡紹介 これまで本調査B（調査対象部分を全面調査する本調査）が実施された遺跡を地区別に紹介しています。各遺跡の調査を象徴する写真一枚を厳選して展示しています。

ゾーン3 縄文時代 今回の設案ダム関連調査で、最も多くの資料が見つかっている時代は縄文時代です。このゾーンでは昨年度に調査報告書が刊行された笹平遺跡を中心に、展示しました。なお、後期旧石器時代については、常設展示で川向東貝津遺跡の遺物が紹介されていますので、併せて是非ご覧いただければと存じます。

笹平遺跡は縄文時代早期〜晩期の集落で、特に後期の集落の様子がよく分かるものです。台地中央にあった巨岩（笹平岩）を起点として、竪穴建物跡・貯蔵穴群・配石および集石遺構・土器埋設遺構（埋甕と土器棺墓）・掘立柱建物跡などで構成されていました。特に貯蔵穴として使用された土坑の中に多量の土器が廃棄されており、全体の形の分かる土器が多く見つかっています。今回、これらの土器をはじめ、大型石棒や岩偶岩版類など豊富な石製の祭祀具を展示しています。また、これに加えて、滝瀬遺跡で出土したトロトロ石器（縄文時代早期）、マサノ沢遺跡から出土したハート形土偶や岩偶岩版類（縄文時代後期）も展示しています。

ゾーン4 弥生時代 笹平遺跡で見つかった土器棺墓が特に注目です。縄文時代晩期に盛行した乳幼児を埋葬した土器棺墓の風習が、弥生時代になると成人骨を埋葬するものに変化していきます。特に棺の身に使用された大型の壺は、縄文時代の伝統を引く作り方と弥生時代から始まった土器製作技術が組み合ったものとなっています。この地域の弥生時代の始まりを象徴する資料となっています。また、上ヲロウ・下ヲロウ遺跡では、土石流堆積層の下から見つかった、弥生時代中期後葉の集落跡が話題となりました。今回は、周堤の見つかった竪穴建物跡内から見つかった、土器や石製紡錘車を見て頂きます。

ゾーン5 古墳時代以降 設案ダム関連事業の調査では、特に平安時代の遺構・遺物が、胡桃窪遺跡や滝瀬遺跡、上ヲロウ・下ヲロウ遺跡で見つかっています。この他に、昨年度に調査された大崎遺跡での中世前半の水田跡、江戸時代の万瀬遺跡で見つかった倉庫群や西地・東地遺跡の鍛冶関連遺構などから出土した遺物も展示しています。

ゾーン6 映像展示 発掘調査・室内整理調査では、さまざまな記録をとっていきます。ここではそのうちの写真記録や図面記録に焦点を当て、調査記録の様子や、記録の活用について、皆様にその有効性と可能性をご紹介します。

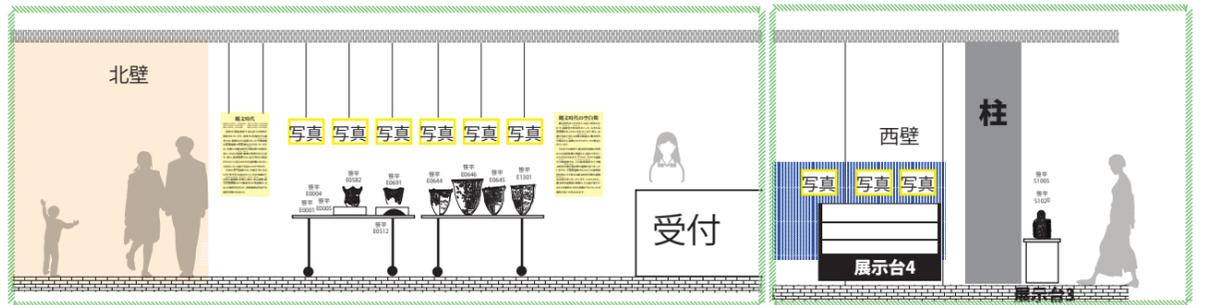


図3 展示計画案 (上: ゾーン3、下: ゾーン6)

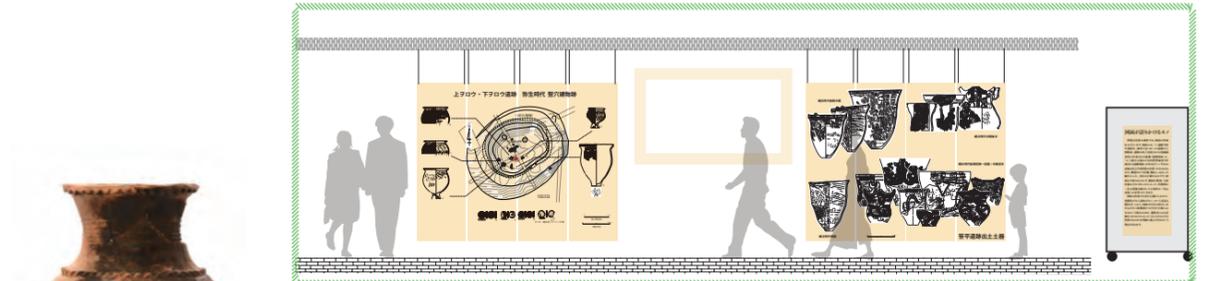


図4 展示資料【笹平遺跡】
(左: 弥生時代前期の土器、右: 縄文時代後期土器)



図5 展示資料の出土状況【笹平遺跡】



図6 石製の祭祀具【笹平遺跡】

ゾーン7 ジオラマ展示 ここでは、図面や写真による紹介だけではなく、ジオラマ（立体模型）で具体的な遺跡の姿を縮小して再現してみました。取り上げる遺構は、上ヲロウ・下ヲロウ遺跡の弥生時代中期後葉の竪穴建物跡です。周堤の様子など微妙な起伏をリアルな形でご堪能ください。

今回の展示は、設案ダム関連の発掘調査において、新しく奥三河郷土館がオープンされた以降に「発掘調査報告書」が刊行された遺跡を中心に、令和三年度までに発掘調査された資料を取り扱っています。なお、平成三二年度までに「発掘調査報告書」が刊行された資料は常設展示にて紹介しています。今後も発掘調査は継続するため、今回は中間報告となりますが、本事業の発掘調査および室内整理調査が終了する際には、また改めまして、何かの形でのイベントを企画・実施できればと考えています。(川添和暁)

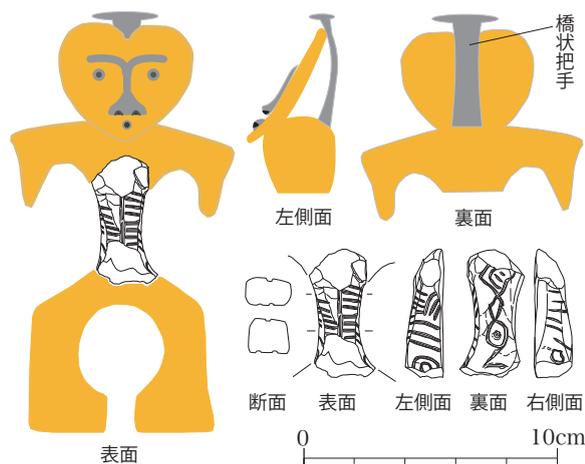
マサノ沢遺跡出土のハート形土偶

マサノ沢遺跡は、二〇一七年度に発掘調査した遺跡です。今年度も発掘調査を予定しています。過去の調査については、二〇一七年度の『設楽発掘通信』(No. 27・35)で紹介してきました。今回は、秋の埋蔵文化財展に出席するハート形土偶について紹介します。

ハート形土偶は、顔がハート形をしていることから名付けられた縄文時代後期前葉(約四〇〇〇年前)を代表する土偶です。マサノ沢遺跡から出土した注目すべき点は、県内から初の出土例であったことです。ハート形土偶は、南東北から北関東を中心に出土する土偶で、長野県より西から出土することはほとんどありません。遠く滋賀県甲良町小川原遺跡の出土例を除けば、西の最果てから出土した珍しい事例です。

マサノ沢遺跡出土の土偶は、胴体部分のみです。ハート形の顔と手足は残念ながら見つかりません。では、なぜハート形土偶だとわかったのでしょうか。ここで簡単に特徴を整理しておきましょう。まず、顔の形はハート形が多く、顔面の表現は目の中心部に刺突した丸い出目、眉と鼻が一体化したY字状の細長い立体表現に、鼻穴は上方に開く豚鼻風、口は表現のある場合、丸くどがったおちよぼ口が付きまます。手腕の表現は胴体から横に大きく張り出した肩から小さく垂れ下がる腕、手の表現はとくにありません。脚は、腕と同様に胴体から大きく腰が張り出し太い脚から大きな足へつながるとっしり体型をしています。また、頭部と首元の後頭部をつなぐ「橋状把手」とよばれるキノコの笠が付いた把手に似る部位も特徴の一つです。さて、肝心の胴体ですが、胴部から張り出す手脚と比べると非常に小さく五センチ程度です。断面が四角形の細長い平面形の胴部が多く、乳房の表現のある表面と裏面さらに側面に線描があります。この線描がハート形土偶の特徴と共通することから解りました。マサノ沢の土偶は、表面は縦に中心線、その両側に横線を一〇本近く引き、肋骨のような文様があります。ただし、乳房の表現部分は欠けていて解りません。裏面は同心円や渦巻を一つあるいは数個配し、これを複数の線描でつなぎます。側面にも複数の横線と共に同心円あるいは渦巻の文様があります。つまり、これら胴部の文様と形状が南東北

から北関東に多く出土するハート形土偶と共通することが解りました。指ほどの小さな土偶ですが、展示会場でじっくりとご覧ください。(永井宏幸)



復元高：16.0cm

残存高：5.0cm

図7 マサノ沢遺跡出土のハート形土偶

設楽発掘通信

No.72 令和4年8月号

編集・発行 公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団

愛知県埋蔵文化財センター

〒498-0017 愛知県弥富市前ヶ須町野方8022の24
電話 (0567)67-4161【管理課】4163【調査課】

ホームページ <http://www.maibun.com>

Facebook <https://www.facebook.com/maibunaiichi>

Twitter https://twitter.com/aichi_maibun

印刷・協力 株式会社アールエフ

